

はじめに

昭和46年に公害研究所が設立されてから20年を経過しました。本年報は平成2年度の業務概要と調査研究のほかに、歴代の所長先輩各位の回顧記と各研究部門の20年間の業務の変遷を加えました。

この間、私共は、大気、水質、騒音・振動等の公害の科学的究明をはじめ、広く都市環境の保全と創造に資するため、時代の変化と要請に応じた調査研究に取り組み、その成果は本市における公害行政の推進に、少なからず貢献してきたものと思っております。

また近年、私たちをとりまく環境は更に大きく変化してきております。これまでの鉄鋼、重化学工業等による環境汚染からエレクトロニクスを初めとする科学技術の発達と産業構造の変化による新たな物質による環境汚染、都市人口の急速な過密化に伴う都市生活型公害の顕在化、また物質文明の発達と生活水準の向上による多消費がもたらす地球規模での環境問題、更には市民の環境に対する価値観の高次化と多様化等々、環境問題もその質、範囲とも拡大し、これらをめぐる新たな課題への対応が迫られてきており公害研究所に対する期待とその役割もますます大きくなってきております。

このような背景を認識し、現在、新たな課題に的確に対応し、かつ21世紀を展望した総合的、先見的な調査研究を目指した「新しい環境研究のあり方」の検討を進めております。

今後とも関係各位の一層の御指導と御協力を賜りますようお願いいたします。

平成4年3月

川崎市公害研究所長

福 満 博 視